

平成17年度

第3回理事会 議事録

1. 会議名 平成17年度「第3回理事会」
2. 日時 平成17年12月19日（月）18時30分～20時30分
3. 場所 麻布霞会館（東京都港区西麻布3-2-32）
4. 出席理事 二木 英徳（会長）、朝倉 正昭（副会長）、高橋 明（副会長）、
福本 隆（副会長）、荒井 隆（専務理事）、石崎 朔子（常務理事）、
関田史保子（常務理事）、渡辺 守成（常務理事）、秋山エリカ（理事）、
池田真喜子（理事）、岩本 晃（理事）、上村 郁子（理事）、
岡 久留実（理事）、佐藤 昌子（理事）、崇島 慎一（理事）、
谷口 裕代（理事）、谷原 誠（理事）、橋本 千波（理事）、
藤島八重子（理事）、山崎 浩子（理事）、
田中 元（監事）、横田 章（監事）、
以上22名（うち委任状出席8名）
欠席理事 0名
その他出席者 0名
5. 議長 社団法人 日本新体操連盟・定款第24条第2項により議長は二木英徳会長が務めた。また、議長の指名により進行は荒井専務理事が務めた。
6. 議事録署名人決定
定款第32条により、議長は議場に諮り、議事録署名人を荒井専務理事、橋本理事を指名した。
7. 報告事項
(1) 第14回全日本新体操クラブ選手権実施報告
定款第5条関連事項（説明者：池田真喜子理事）

今年度選手権において参加チームが205クラブチーム615名の参加があったことや大会結果を報告した。また、大会に関連して以下のことを報告した。

1. 審判講習会を昨年度まで大会日程と別日程で開催していたが、今大会から大会日程とあわせて参加しやすいようにスケジュールしたこと。
2. 帯同審判員の申請数が昨年同様少なく、EX審判が2面を見るという過密業務となったことを反省に、来年度同じようなことがある場合は日本体操協会へ審判員を派遣申請することで進めること。
3. 国内年齢基準と国際年齢基準の関係でクラブ対抗2位チームがイオンカップに出場できなかったこと。

実施報告終了後、谷口理事、佐藤理事より大会について指摘があり、審議した結果以下ようになった。

1. 帯同審判員の派遣制度は宿舎が問題である。
→審判制度は選手と審判を別の宿舎とすることが基本であり、過去も事情により要望があった審判員には、宿泊費差額分を負担していただき希望に沿う形をとっていることが報告され。帯同審判員負担金の見直しも含め帯同審判員制度の検討をすることとなった。

2. Cフロアのフロア配置に疎外感があり、不満が出ている。
→音響および進行を考え検討することとなった。
3. 1部リーグと2部リーグに練習時間、競技種目数に差があり、不満が出ている。
→シードチームをなくし、2部リーグから参加させる方向となった。ただし今年度シードチームを発表している関係上、来年度以降の実施として考えることとなった。

(2) 第5回全日本新体操クラブ団体選手権参加状況報告

定款第5条関連事項（説明者：池田真喜子理事）

今年度選手権において参加チームが75クラブチーム459名の参加があったことや大会結果を報告した。また、大会に関連して以下のことを報告した。

1. 参加が増え、現在の1日1競技面の進行では時間的に厳しくなったこと。
2. 練習禁止場所をしているにも関わらず、練習しているクラブが多くモラルが低下していること。
3. 大会監督会議で日本体操協会主催「全日本新体操選手権」への出場権獲得チーム数の増加を要望されたこと。

以上が報告され、3. 出場権獲得チーム数については今年度の成績を参考に来年度1チーム増加した2チームの出場権を日本体操協会に申請することとなった。

実施報告終了後、岡理事より大会について指摘があり、審議した結果以下のようになった。

1. 全日本選手権が年齢変更したので来年度の年齢を変更すべき。
→全日本選手権の年齢を確認し、年齢を以下のようにすることとなった。
ジュニア 小学5年生から中学3年生
シニア 15歳以上
2. 混成チームの得点を出して欲しいと要望がある。
→混成採点ルールをシニア基準を基に作成するよう検討することとなった。

(3) イオンカップ2005世界新体操クラブ選手権実施報告

定款第5条関連事項（説明者：池田真喜子理事）

今年度選手権において参加チームが20クラブチーム60名の参加があったことや大会結果を報告した。また、大会に関連して以下のことを報告した。

1. ポディウムジャッジを行うには大会期間を1日増やさなければならないこと。
2. テレビ放映の視聴率が近年に比べ低かったこと。

以上が報告され、2. テレビ放映については内容、時間帯等の検討をすることとなった。

実施報告終了後、山崎理事より大会について指摘があり、審議した結果以下のようになった。

1. プレス対応で受付に人がいなかった事があった。
→プレス対応を充実させることとなった。

また、渡辺常務理事よりFIGのグランディ会長が将来的には各大陸で予選会を行って各大陸の代表を集めて日本で世界新体操クラブ選手権を開催したい

意向がある旨を報告した。

(4) **第7回日本新体操祭実施報告**

定款第5条関連事項（説明者：池田真喜子理事）

今年度実施事業に際し53チーム1994名の参加があったことを報告した。また、事業に関連して以下のことが報告された。

1. 40チーム定員のところ参加希望53チームを受け入れることによって事前練習の時間が取れなかったこと。
 2. 座席指定制度を採用し、観客数を予想し席を割り振ったが、お客様よりご質問が来たこと。
 3. チケット収入はあったが必要経費もかかったこと。
 4. 世界トップ選手との写真撮影会が参加人数も多く業務が大変となったこと。
- 以上が説明され、4. 写真撮影については説明を十分に言い、混乱した原因をなくすよう検討することとなった。また、イオンカップの会場で世界トップ選手たちと触れ合うことができる大会特典との関係を考えた上で参加者増加に伴う別開催を検討することとなった。

(5) **欠席理事からの意見報告**

定款第5条関連事項（説明者：渡辺常務理事）

石崎常務理事より文書にて意見があった旨をつげ、出席者へ書類を配布した。

8. **審議事項**

第1号議案 **平成18年度事業計画案について**

定款第5条関連事項（説明者：池田真喜子理事）

文部科学省に提出した5ヵ年計画にそって作成した平成18年度事業案を主な大会日程などを含め提案した。特に来年度はイオンカップ世界新体操クラブ選手権を三重県で開催することとなり、念入りに準備することなど説明し計画案を基に来年度事業を実施することとなった。

第2号議案 **第8回チャイルド選手権チケット販売概要について**

定款第5条関連事項（説明者：池田真喜子理事）

チャイルド選手権では参加者の増加により、座席指定制度を採用することが決まっており、その際指定席の概要の提案がされた。参加予想人数から出された収支予想をもとに競技開催期間中1日1000円でチケット販売することとなった。

また、橋本理事よりチャイルド選手権でルール変更となった3・4年生の部参加者提出用ジャッジペーパーの説明と審判構成人数についての説明がなされ、ジャッジペーパーは項目貼付方式。審判構成はD.E3名、M上半身3名、M下半身3名、D2名とすることが決まった。

第3号議案 **バッヂテストについて**

定款第5条関連事項（説明者：橋本千波理事）

実施予定である選手、指導者、審判の三位一体のバッヂテストと指導者認定と審判研修の実施スケジュールが説明され、バッヂテストの方向性の明確化、わかりやすさ、受ける楽しさを入れ込むバッヂテストにするよう検討し

来年度から実施することが了承された。

第4号議案 その他について

その他については提案されなかった。

9. 閉 会 議長は、議場に諮り、報告事項、審議事項の終了を確認し、20時30分に閉会を宣言した。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成17年12月19日

平成17年度 第3回理事会

議 長 二 木 英 徳

議事録署名人 荒 井 隆

同 橋 本 千 波